

知財と連動する独自開発技術の攻めと守りの戦略を構築！

会社名 川本化成株式会社
 所在地 和歌山県和歌山市直川160-23
 従業員 49名
 資本金 1,000万円
 売上高 6億円
 業種 樹脂素材(プラスチック)加工品の製造・販売



~イメージをカタチに~
川本化成株式会社

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 新たな事業展開に向け、知財戦略・知財活動の準備不足、新事業展開に係る組織的強みの充実(外部との共同開発、販売・営業方法を含む)、海外展開に関する経験不足といった弱みを克服したい
- 他社の知的財産権取得による事業展開の制約、ノウハウ・蓄積データの流出による機会損失、海外展開における技術流出等といった経営リスク(脅威)を最小化したい

支援を受けてできるようになったこと

After

- 事業戦略・市場戦略・販売戦略の策定(その考え方に対する理解が深まった)
- 要素技術権利化を通じたオープン・クローズ戦略への理解
- 生産体制強化に対する経営判断
- マネジメント体制を確保し、しくみの拡充を図る

今後の事業展開の展望

Future

- 特許出願プロセスへの理解が深まり、社内での知財体制や社内の知財意識の高揚を図っていききたい
- 機密保持に係る社内規則・ルール運用による意識定着を図っていく
- 展示会や訪問での営業を軸にユーザーの発掘を行うとともに、よろず支援拠点の支援を受けながら販路開拓を進めていく

重点支援を受けた事業や商材



プラスチック加工(塩ビが主力)、特にプラスチックの「溶接」技術に特化し、30人の溶接技術者を擁している。

「イメージをカタチに」を社是として顧客のニーズに合わせた製品を手作りで提供しており、液晶・半導体の洗浄処理装置をはじめ、LEDや太陽電池の処理装置などの分野に展開しているB to B型の企業である。

独自開発した炭素繊維強化プラスチック溶接技術について、ロボット、自動車、航空機等のユーザーニーズに応え得る事業として提案していくことを目指す。

【出典】川本化成株式会社ホームページ
<http://www.pvc-kawamoto.co.jp/>

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
当該技術の対象市場の調査分析が充分ではない	溶接技術、特に「炭素繊維強化プラスチックの」の利用される市場の調査解析が不十分である
今後の事業展開についての戦略が不明確	炭素繊維強化プラスチックの溶接技術の事業化にあたり、ターゲット戦略、および販売戦略が明確化されていない。機能性を加味したデザイン設計や樹脂の選定についての改良・検討が必要
知財戦略が確立されていない	コア技術を補完できる知財権の獲得戦略の構築がなされておらず、また溶接条件などのノウハウを含めた重要なオープン・クローズ戦略の方針が決定されていない。特許出願は1件のみ（年金不納）であり、出願戦略についても未整備
顧客での実用評価を受けるに際しての契約事項(特に秘密保持)が自社の意図した形で築けていない	開発した溶接技術が顧客ニーズに合致するかどうかの確認のための早急のユーザー評価が必要であり、サンプル提供による機密情報等の防止及び自社技術の権利化確保のための契約交渉についての知見や経験が充分ではない
今後の事業計画を見据えた知財マネジメント体制が未整備	知財規程類が整備されておらず、社内の知財啓発・人材育成も必要

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
市場動向について情報収集を行い、ターゲットの絞り込みを行いつつ概要を確認	事業開発戦略が明確になった	中小企業診断士
経営デザインシートによる経営戦略の立案を行いつつ、開発技を明確にした	事業・販売戦略を定めることができ、コロナ禍明けに積極的に展示会に出展の方針などの今後の開発及び支援スケジュールの共有ができた	中小企業診断士
要素技術の出願・権利化を進めるとともに、秘匿化の見極めを行い、オープンクローズ戦略について議論	要素技術の出願・権利化を早期に実現した	弁理士
契約・交渉のポイントの説明とともに秘密保持契約書の雛形作成、契約についての理解を深めるとともに、秘密保持契約書雛形を準備	知財管理意識の醸成が図られた	契約専門家、弁理士
規程策定・運用の重要性、知財管理担当者による知財管理の必要性を助言	職務発明規程の制定及び情報管理規程の整備と知財担当者（兼務）の配置がなされた	職務発明専門家、知財戦略EX

支援チーム紹介

リーダー専門家: 弁理士・中小企業診断士 田村 善光
 活用専門家: 契約専門家、職務発明専門家、知財戦略EX
 知財総合支援窓口担当者: 和歌山県知財総合支援窓口 辻本 善博
 PO(プログラムオフィサー): 山村 正明